

環境教育 News

発信元:被災地里山救済・地域性苗木生産ネットワーク

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1

長野大学環境ツーリズム学部内

TEL 0268-39-0136

この資料はご自由にどうぞ(無料)。平成25年10月発信

たねぷろじえくと(正式名:被災地里山救済・地域性苗木生産プロジェクト) ワークショップ開催 ワークショップ(1)種子の採取、ワークショップ(2)種子の蒔き出し

日程: 2013年11月16日(土) 8:30~12:00

会場: 宮城県山元町立坂元小学校、深山山麓少年の森「菱沼の郷」(宮城県山元町)

参加校: 宮城県山元町立坂元小学校、長野大学

「たねぷろじえくと」では、東日本大震災で津波被害を受けた宮城県南部の里山の再生を目的に、小学校児童と大学生の協働によって被災地の種子から苗木を育てています。被災地の小学校児童対象のワークショップは本プロジェクトでは初めてであり、宮城県山元町立坂元小学校にて開催します。

来る11月16日(土)に、坂元小学校(宮城県山元町)の児童1~3年生を対象に「ワークショップ(1)種子の採取」および「ワークショップ(2)種子の蒔き出し」を開催します。ワークショップでは、深山山麓少年の森「菱沼の郷」(宮城県山元町)の林から種子を採取し、その種子を植木鉢(ペットボトル、プランター)に蒔き出します。また、簡単などんぐりクラフト(ストラップづくり)も行います。詳細については、案内チラシをご覧ください。



【たねぷろじえくとホームページ 2013年10月1日開設】

URL: <http://tane-project.org/>

【たねぷろじえくとが目指すこと】

- ①被災地のために貢献したいと思う長野県民と、被災地の里山を再生させたいと願う宮城県民の有志を束ねて、被災地の種子由来の地域性苗木を長野県と宮城県で生産し、その苗木を被災地に植栽するまでの過程を支える「たねぷろじえくとネットワーク」(正式名:被災地里山救済・地域性苗木生産ネットワーク)を構築します。
- ②未来を担う若い世代(小学生~大学生)の協働によって、被災地に植栽する地域性苗木を生産します。
- ③生産した地域性苗木を被災地に植栽し、里山を育成します。
- ④たねぷろじえくと参加校を対象とするワークショップを企画・運営します。
- ⑤地域性苗木の生態や育苗方法を楽しみながら学べる「環境教育プログラム」を開発し、ワークショップの開催を通じて実践します。
- ⑥他者を思いやり、被災地復興のために何ができるのかを真剣に考えることができる「想像力豊かな心」と、その思いを行動で示すことができる「温かみのある人間力」を育てます。

この件に関するお問い合わせ先

被災地里山救済・地域性苗木ネットワーク代表・高橋 一秋(たかはし かずあき)までお願いいたします。

TEL : 0268-39-0136(ダイヤルイン) 携帯 : 090-4379-2828 E-mail : k-takahashi@nagano.ac.jp

たねぷろじえくと「ワークショップ(1)種子の採取」「ワークショップ(2)種子の蒔き出し」プログラム

■日時：2013年11月16日(土) 8:30~12:00

■会場：坂元小学校、深山山麓少年の森「菱沼の郷」(宮城県山元町)

■目的：①「たねぷろじえくと」の目的を参加者全員で共有する。②深山山麓少年の森「菱沼の郷」の林から種子を採取する。③採取した種子を植木鉢(ペットボトル、プランター)に蒔き出す。④これから「たねぷろじえくと」を担っていく参加者同士(小学校児童と大学生)の親睦を深める。

■プログラム：

8:30 開会式(坂元小)

8:35 はじめに

8:45 アイスブレイキング

8:55 植木鉢づくり+土入れ

9:15 バス移動(坂元小→深山山麓少年の森)

9:45 タネ集め(深山山麓少年の森) →コナラのドングリをひろいます。

10:15 バス移動(深山山麓少年の森→坂元小)

10:45 タネまき(坂元小) →ドングリをペットボトルにまきます。

11:00 未来の森を描く(坂元小) →めざす未来の森の姿を描きます。

11:30 どんぐりクラフト →ドングリで簡単なクラフトを作ります。

11:45 まとめ、アンケート

12:00 閉会式(坂元小)

「たねぷろじえくとネットワーク」の全体像

